

自動車交通流調査

— 県内主要幹線道路の走行実態と大気汚染 —

竹内和俊 赤坂和也

1 目的

自動車交通流の実態を把握し、その改善による大気汚染低減策を検討することを目的とする。本年度は、基礎データ収集のため国道、県道等の県内主要道路の平常時における実走行調査を行った。

2 調査・研究の具体的な方法

2・1 実走行路線

実走行路線は、千葉、東葛・葛南地域の幹線道路を周回する路線とし、図1の5ルートを設定した。

2・2 調査対象日時

調査は、道路交通情勢調査の対象月の10月を中心としてルート別に2003年度の表1の月日に行った。調査時間帯は、概ね10時～15時である。

2・3 調査方法

調査は、GPS航法装置による走行計測システムを用い、調査対象日にルートを左周回及び右周回各1

回実走行試験することによって行った。1回/秒の頻度で試験車両の位置(緯度・経度)及び車速を収録し、走行データを得た。

2・4 解析方法

県内における自動車の走行実態と大気汚染の関係を把握するため、次により解析する。

(1) ショートトリップの解析

自動車走行実態解析の基本となるショートトリップ(図2参照)の県内における実態を解析する。

(2) 区間の解析等

トラフィック・カウンターの配置により各ルートを複数の区間に分割した。ルート毎の区間数は、ルート1から順に12、9、6、14及び12である。各区間における走行実態の解析及びボトルネック等問題地点の把握を行う。

(3) 走行実態と大気汚染の関係解析

走行ルート上にある自動車排出ガス測定局前面の走行実態と環境濃度の関係を中心に解析を行う。なお、結果については現在解析中である。

表1 調査対象日

ルート	調査月日	ルート	調査月日
ルート1	10月1日, 10月17日, 11月5日	ルート4	10月10日, 10月29日, 11月14日
ルート2	10月3日, 10月22日, 11月7日	ルート5	10月15日, 10月31日, 11月19日
ルート3	10月8日, 10月24日, 11月12日		



図1 実走行路線

(注) ○数値は主要通過地点の番号を示す。

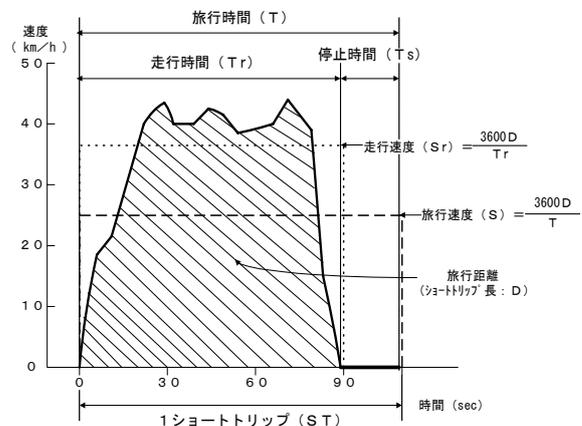


図2 ショートトリップ等の定義